

【 ニ ュ ー ス 】

ハ ワ イ ・ メ キ シ コ 日 食

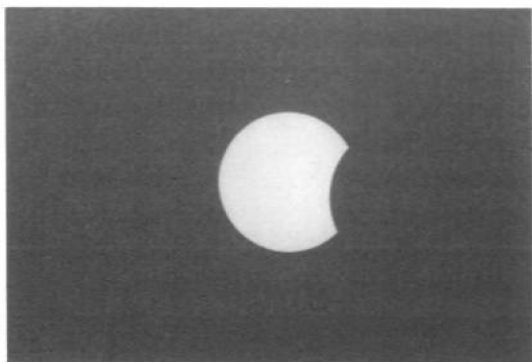
3年ぶりに条件のよい皆既日食がハワイからメキシコにかけてありました。皆既日食は月が太陽を全て隠す現象で、太陽のまわりには青白く輝くコロナ、赤く光るガスであるプロミネンスが見られます。また、その時にはまわりの地平線は赤い夕焼けに染まります。わずか数分間のできごとですが、大変美しい現象で、日本からも多くの方が出かけました。

科学文化センターでは2名がハワイに出かけました。残念ながら厚い雲にさえぎられ、部分食は見ることができましたが、皆既食は見れませんでした。

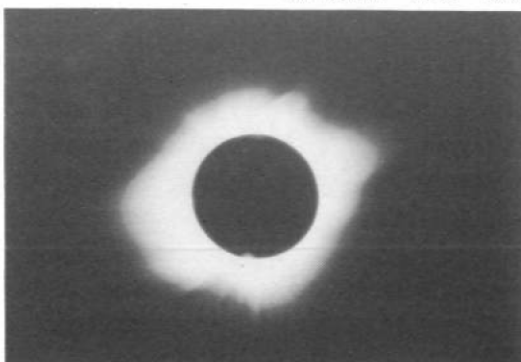
一方、メキシコではカリフォルニア半島で天気に恵まれました。当日は大変暑い天気でしたが、太陽が欠けるにしたがい、少し涼しくなりました。コロナは写真では太陽の直径程度の広がりですが、目でみるともっと大きく広がっています。

皆既日食の時にはまわりは夕方くらいの明るさになり、空には明るい星が見えてきますが、今年の場合は例年に比べて明るかったようです。これは、フィリピンのピナツポ火山等の火山灰が大気中に広がっているののでそれに反射されて、空が明るかったのではないかと考えられます。

(布村克志・渡辺 誠)



雲間に見えたハワイでの部分日食
—当館 渡辺 誠 撮影—



メキシコでの皆既日食
—金沢市 斉藤智雄氏撮影—

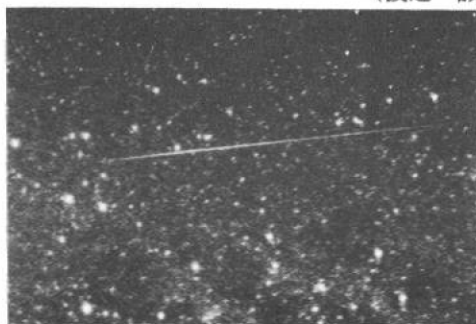
活発な活動を見せたペルセウス座流星群

毎年8月12日を中心に2・3日は流れ星がよく見える日です。流星は彗星などを造っていた物質が壊れて、小さな塵となり、それが地球に飛び込んで、大気との摩擦で光って見える現象です。この時期はペルセウス座を中心に放射状に流れ星が見えるので、ペルセウス座流星群と呼ばれています。

毎年、空の良いところでは1時間に50個程度の流星が見えますが、今年は非常に多く、信州大学OBの人たちの観測では最大時には300個を超える流星が見られました。この日は富山市内はあいにくの曇りでしたが、立山室堂では1分間に数個の流れ星が見え、空を見ていた人を楽しませてくれ

ました。しかし、多く見られたのは午後11時ころから午前2時ころまでの大変短い時間でした。

(渡辺 誠)



今年のペルセウス座流星群 (立山室堂にて)